

校訓 『雪中送炭』



坂田っ子

米原市立坂田小学校学校だより
令和5年5月10日〈第2号〉
(文責 校長 山口 昌章)

TEL 0749-52-1240 FAX 0749-52-8133
【児童数】462名(5/1現在)

坂田小みんなの合い言葉 「ささえ合う子」「かがやく子」「たくましい子」

皆様の見守りに感謝! 感謝!

毎朝、校門の前に立っていると、保護者の皆様や地域の皆様が子どもたちに寄り添っていっしょに歩いてきてくださいます。また、各地域であいさつ運動や見守り活動をしてくださっている方もおられます。毎日毎日、当たり前のように子どもたちの見守りをしてくださっていますが、決して当たり前のことではなく、本当に大変なことだと思います。しかも、毎日笑顔で子どもたちに接して下さいます。こうした姿を拝見するたびに、本当に有り難いことであると感じます。皆様のおかげで、坂田っ子は安全に登下校ができていますし、皆様の笑顔と声掛けで、どれほどの子どもの心が和らんでいるかわかりません。本当にありがとうございます。

これからも、どうぞよろしく願いいたします。

優しいな
坂田っ子

校長 感動日記

- ① 毎朝の登校の様子ですが、坂田っ子には「おはようございます」としっかりあいさつできる子がたくさんいます。中には、こちらの顔をしっかり見てあいさつする子、ちょっと立ち止まっておじぎをする子、帽子を脱いであいさつする子もいます。そんな子どもたちの姿を見ると、朝からとてもすがすがしい気持ちになります。
- ② 上学年の子どもたちの多くは、小さい子の手をしっかりとにぎって登校してきます。小さな子たちのスピードに合わせてゆっくりと歩いてくる子や不安げな一年生が楽しくなるような声掛けをしている子もいます。入学したばかりの一年生は、いろいろ不安を抱きながら登校することもあるでしょう。その様子を肌で感じながら、自然と優しい気遣いができる坂田っ子は素晴らしい!!感動です!!
小さな子たちも、そんなお兄さんやお姉さんの気遣いが本当にうれしいと思います。

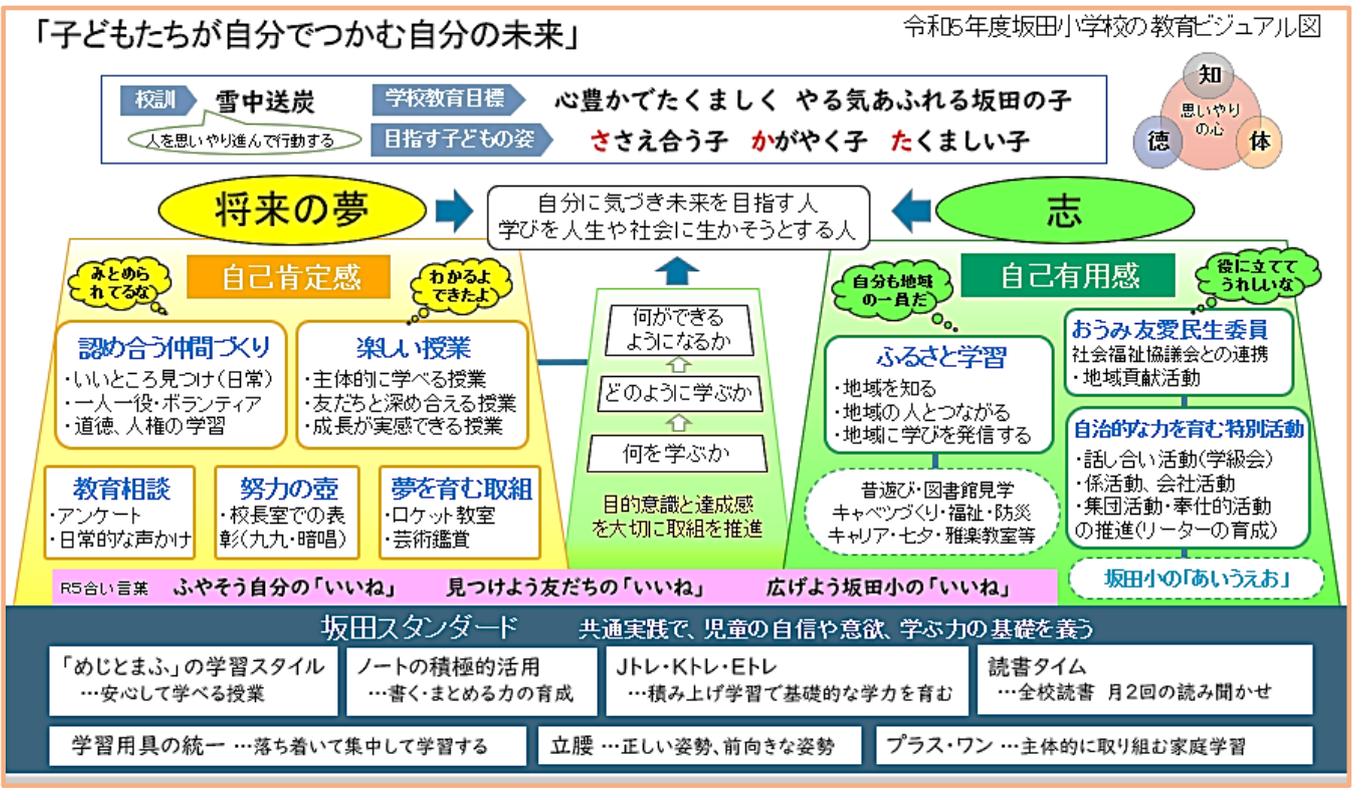
5月行事予定

日	曜	行事等	日	曜	行事等
2	火	心電図検査(1・4年)	18	木	視力検査(4年)
3	水	憲法記念日	19	金	内科検診(3・5年)
4	木	みどりの日	22	月	視力・聴力検査(3年)
5	金	こどもの日	23	火	視力・聴力検査(5年)
9	火	たて割り班顔合わせ(坂田タイム)	24	水	視力・聴力検査(1年) 検尿2次
10	水	学習参観・PTA 総会・学級懇談会	25	木	体力テスト 検尿2次
11	木	3年生校区探検	29	月	内科検診(1・4年)(水泳前検診)
12	金	内科検診(2・6年)	30	火	4年ろ・は組校外学習(クリスタルプラザ)
15	月	視力検査(6年)			ごみゼロ活動
16	火	1年生を迎える会	31	水	4年い組校外学習(クリスタルプラザ)
17	水	視力・聴力検査(2年) 5年田植え体験			

坂田小学校の教育ビジョン

米原市では、令和3年度からすべての小中学校が下図のような学校教育のビジョンをもち、日々の教育活動を行っています。この教育ビジョンは、①「自己肯定感の高揚」と②「自己有用感の高揚」の2本の柱からなっています。1本目の柱では、日々の教育実践や学校行事の中で、子どもたちが**自分の良さや成長、可能性を実感**できる場面を意図的に設定し、この積み重ねにより自己肯定感を高め「**将来の夢**」をもてるようにすることを目指します。2本目の柱では、自治的な活動や故郷について学ぶ学習、地域貢献活動等を通して「自分も**地域の役に立ててうれしい**。」という自己有用感を育むことをねらいとし、「将来は、**社会のために**こんなことをしてみたい。」という「**志**」を抱けるような子どもを育てていきたいと考えています。

子どもたちの「夢」や「志」は、子ども自身を輝かせるだけでなく、家庭や地域の今、そして**未来**をも明るく照らしてくれると信じています。本校の全教職員も夢と志をもち、子どもの可能性を信じて日々精進していきたいと思えます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



自己肯定感を育むために

◇上記のとおり、子どもたちが**自分の良さや成長、可能性を実感**できるようにすることが大切です。そのためには、やはり「**ほめる**」ことが必要です。しかし、この「ほめる」という行為は以外に難しいもので、ほめ方を間違えると逆効果にもなりかねません。

「〇〇ちゃんより点数がよかったね」とか「100点とれてよかったね」といった、物事の結果に焦点を当てたほめ方のみにならないようにしたいものです。その結果にいたるまでの**過程**(取組の様子など)もおおいに認めていただきたいと思えます。そのためにも、子ども自身が自分でもがんばったと言い切れる取組となるよう、子どもの**がんばりを支えて**あげてください。

自己有用感を育むために

◇おうちでも子どもに**役割を与え、継続して仕事**に取り組めるよう励ましてあげてください。そして、「〇〇してくれたからとても助かったよ」「あなたの〇〇な姿がうれしかったよ」などと、具体的な姿をほめてあげてください。ご家庭と地域、学校が一体となって、子どもたちの自己肯定感・自己有用感を育んでいきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。